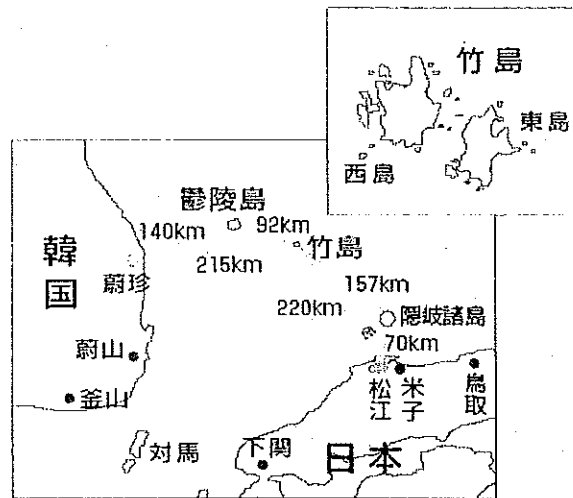


# 第3回 竹島の領土権確立を求める集い

とき 2009年9月4日(金)  
ところ 労働会館「大ホール」



## <次第>

- |             |                  |         |
|-------------|------------------|---------|
| 14:00~      | 開会あいさつ           |         |
| 14:05~      | 主催者代表あいさつ        |         |
| 14:10~      | 来賓紹介             |         |
|             | 隠岐の島町長           | 松田 和久 様 |
|             | 隠岐の島町議会 議長       | 米沢 壽重 様 |
| 14:20~14:45 | 島根県からの報告         |         |
|             | 「島根県の竹島問題への取り組み」 |         |
|             | 島根県総務部総務課管理監     | 山岡 尚 氏  |
| 14:45~16:00 | 基調講演             |         |
|             | 「最新の竹島問題」        |         |
|             | 島根県竹島研究所顧問       | 杉原 隆 氏  |
| 16:00~      | 集会アピール           |         |
| 16:10~      | 閉会               |         |

主催 連合中国ブロック連絡会

# 「第3回竹島の領土権確立を求める集い」

## 集会アピール（案）

竹島は、隠岐の島北西約157キロに位置し、隠岐の島町に属する島根県の一部で、周辺は大変豊かな漁場となっている。

しかし、韓国が一方的にいわゆる李承晩（りしょうばん）ラインを設定した1952年以降、竹島周辺での日本漁船の操業は事実上出来なくなった。この間、日本漁船328隻が拿捕され、3,929人も日本人漁民を抑留するなど、韓国による実力支配が続いている。

日本政府は昭和29年、不法占拠に抗議し、竹島問題解決のため国際司法裁判所への付託を呼びかけたものの、韓国は頑として応じないまま現在に至っている。この間、韓国はヘリポートや接岸施設の建設、国立公園指定の検討、「日本海」を「東海」へ名称変更することについて国際機関へ働きかけ等、様々な形で実力支配をしてきた。また、郵便番号の付与、郵便ポストの設置、さらに「竹島切手」の発行や携帯電話網増設の動きなど、領有権の既成事実化に向けてその動きをますます強化している。

連合島根では、1991年の発足以来、竹島の領土権確立に向け、街宣行動や署名運動を中心に取り組んできた。また、島根県では、昭和62年に竹島・北方領土返還要求運動島根県民会議、平成14年には島根県議会においても超党派議員による竹島領土権確立議員連盟が結成され、平成17年の2月定例県議会で2月22日を竹島の日とする「竹島の日」条例が制定された。

そして、平成18年6月には「竹島領土権の早期確立に関する請願」が衆参両院でも採択された。

もとより領土問題は、国家間の問題であり、両国の外交努力により平和的に解決されるべきものである。また、このような困難な問題を解決するためには、歴史を正しく検証した上で議論を進めていくことが重要である。

私たちは国に対し、国民の理解を深める取り組みや、粘り強い外交努力を求める。そのため、政府に竹島問題を所管する組織が早急に設置され、一日も早く竹島の領土権が確立されるよう、一層の運動を展開していく。

2009年9月4日

第3回 竹島の領土権確立を求める集い